

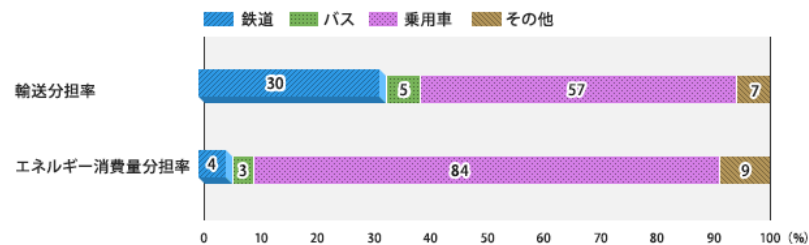
# 地球にやさしい鉄道

鉄道は国内の旅客輸送の30%を担っていますが、それにかかるエネルギー消費量はわずか約4%です。

単位輸送量あたりのCO<sub>2</sub>排出量は乗用車の約7分の1となり、鉄道は他の交通機関と比較すると、エネルギー効率に優れ、地球環境に優しい乗り物といえます。

このように鉄道は地球環境への負荷が少ない、エネルギー効率に優れた輸送機関ではありますが、列車の運行等に多くの電力、燃料を消費し、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を排出しています。鉄道をより多くのお客様に選択いただくことで、エネルギー消費量は増加する可能性があります。輸送機関全体のエネルギー削減に貢献できると考えられます。JR西日本グループでは、地球温暖化防止のためにエネルギーの効率的な利用や消費量の削減を重点に取り組んでまいります。

国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量の構成（2018年度：全国）



資料：一般財団法人省エネルギーセンター「EDMC エネルギー・経済統計要覧（2020）」より算出

※端数処理をして表示しているため、100%にならない場合があります。

単位輸送量あたりのCO<sub>2</sub>排出量【旅客】（2018年度）



（注）国土交通省ホームページをもとに作成（ ）は、実際のCO<sub>2</sub>排出量 [g-CO<sub>2</sub>/人キロ]